

コードで工夫したところ

- 1. 車両をプルダウンで選択したとき、関数showVehicleInfoFromSelection()を呼び出し。同時に各車両と紐づいたvehicles配列のインデックス情報をvalueとして渡す。

```
<!-- 車両を選択 -->
<div class="vehicle-selection">
  <label for="vehicleSelect">車両選択:</label>
  <select id="vehicleSelect" onchange="showVehicleInfoFromSelection()">
    <option value="">車両を選択してください</option>
    <option value="0">ハイエースワゴン</option>
    <option value="1">ランエース</option>
    <option value="2">トヨタ</option>
    <option value="3">エンタ</option>
    <option value="4">ア</option>
    <option value="5">ルファード</option>
  </select>

  <div id="vehicleInfo">
    <!-- ここに選択した車両情報を表示 -->
  </div>
</div>
```

```
// 車両の配列を定義
const vehicles = [vehicle1, vehicle2, vehicle3, vehicle4, vehicle5, vehicle6];
```

0 1 2 3 4 5

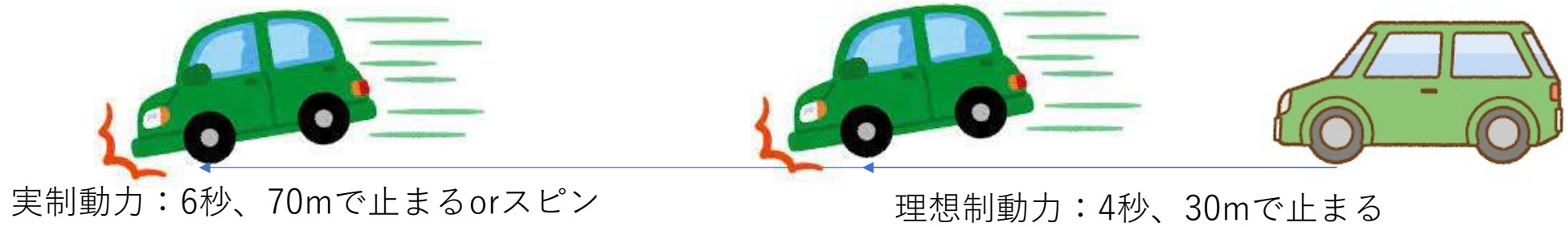
- 2. valueの値を読みとり、vehicles[value]とすることで、選択した車両と車両情報を紐づけ。この車両情報を使って各種計算を実施。

```
//車両をプルダウンで選択
function showVehicleInfoFromSelection() {
  let vehicleIndex = document.getElementById("vehicleSelect").value; //選択した車両の設定したvalueを返す。ここではvehiclesのインデックス番号を返す
  let vehicle = vehicles[vehicleIndex]; //選択した車両の情報をvehicleに代入
  let info = document.getElementById("vehicleInfo"); //id:vehicleInfoに情報表示させるためinfoに代入
}
```

If文でvehicle1が選択されたとき、
・・・vehicle2が選択されたとき、
・・・など繰り返しをせずに
コードを短縮化できた

○他にやりたかったこと

- ・ 選択した車両がブレーキを踏んだときの挙動を理想制動力、実制動力それぞれでアニメーションで描画イメージ



○プレゼンテーションを作ってみて

自分の頭でやりたかったことが、実際にできるようになったことを実感できた。
上記のようにまだうまく作れないものもあるので、
今後もっと勉強して、業務に役立つツールの開発をしていきたいと思いました。

グラフについて

参考記事：<https://qiita.com/Haruka-Ogawa/items/59facd24f2a8bdb6d369>

- ・ グラフ描画はcanvas要素を使用。

```
<canvas id="myChart"></canvas>
```

- ・ Chart.jsを使ってグラフを書くため、**CDN**に公開されているjsファイルを読み込み

```
<script>  
src="https://cdnjs.cloudflare.com/ajax/libs/Chart.js/2.7.2/Chart.bundle.js"  
</script>
```

- ・ canvas要素を取得し、変数 ctx に入力

```
let ctx = document.getElementById("myChart"); // キャンバス要素を取得
```

- ・ 描画するグラフを、new Chart()によって設定。

```
let myLineChart = new Chart(ctx,  
{ type: タイプ, data: データ, options: オプション }
```

設定項目	設定内容
type	描画するグラフの種類
data	ラベルとデータセット
options	オプション設定